

# とめどないエネルギー

## Endless Energy

ガラスをめぐる探究と表現

Exploration and Expression in Glass



1 岩田藤七《貝》1964年 北海道立近代美術館蔵

2017年11月23日（木・祝）— 2018年2月4日（日）

- 展覧会名 とめどないエネルギー：ガラスをめぐる探究と表現  
会 期 2017年11月23日（木・祝）— 2018年2月4日（日）  
会 場 富山市ガラス美術館 展示室1-3（2・3階）  
出品点数 約70点  
開場時間 午前9時30分～午後6時（金・土曜日は午後8時まで。入場は閉場の30分前まで）  
※初日のみ午後1時から開場  
閉場日 第1、第3水曜日、年末年始（12月29日-1月3日）、1月10日（水）  
観覧料 一般700円（500円）大学生500円（300円）  
○（ ）内は前売り・20名以上の団体 ○高校生以下は無料  
※1 前売りは（一般）のみ ※2 本展観覧券で常設展もご覧いただけます  
主 催 富山市ガラス美術館  
後 援 北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送、FMとやま、富山シティエフエム

## 概要

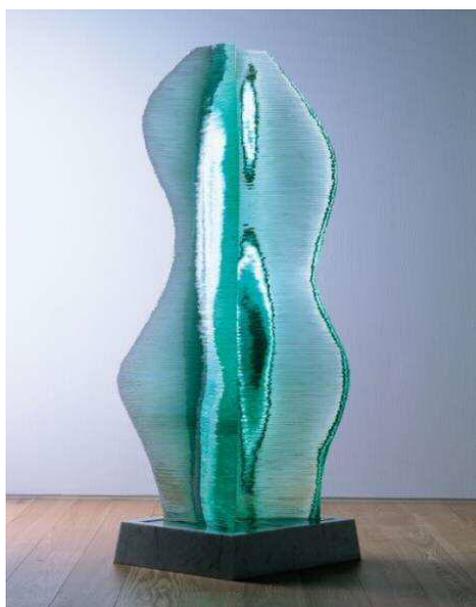
ガラスを表現の素材として用いる動きは、日本においては1920年代より見られ始めます。この動きは戦後から70年代にかけて、次第に拡大していきました。作家達は模索を繰り返しながらガラスを扱う方法を探究し、制作環境を整えていきました。可能性を探りながら未知なる領域を切り開き、自身の表現を追求することへの好奇心や熱気は、多様な作品が絶えず生み出されている現在の状況へと繋がっていきます。

本展で紹介する12名の作家は、変化し続ける社会状況や自身を取り巻く環境に向き合いながら、様々な視点からガラスという素材を捉え、作品を制作しています。彼らは制作行為の中で、素材と自身の感情、感覚、信念を重ね合わせ、かたちを作り上げています。「作ること」に対する終わりのない探究の中で生み出された作品は、新鮮さと力強いエネルギーに満ちています。こうした作品との出会いは、現在を生きることへのエネルギーや、想像を限りなく広げることの喜びを私たちの内に呼び起こします。

## 出品作家

いわたとうしち かがみこうぞう こしばそといち すがさわとしお ますだよしのり たけうちでんち たしまえつこ たかはしよしひこ  
岩田藤七、各務鑛三、小柴外一、菅澤利雄、益田芳徳、竹内傳治、田嶋悦子、高橋禎彦、

いくたによこ いたうまこと みしま え いのうえつよし  
生田丹代子、伊藤孚、三嶋りつ恵、井上剛 (計12名、展示導線順)



2 生田丹代子《SWING-40》1991年 富山市ガラス美術館蔵  
撮影：齋城卓



3 田嶋悦子《Records》2017年 作家蔵  
撮影：齋城卓

## ｜ 出品作家略歴

いわたとうしち  
**岩田藤七**

- 1893 東京都生まれ
- 1909 四条派日本画家稲垣雲隣からつけ立てを習う
- 1911 白馬会洋画研究所にて岡田三郎助に師事
- 1918 東京美術学校（現東京藝術大学）金工科卒業
- 1922 建畠大夢に師事し、彫刻を学ぶ
- 1923 東京美術学校西洋画科卒業、橘ガラス工場社長・今村繁三のもとでガラス製法を学ぶ
- 1927 ガラス制作開始
- 1931 岩田硝子製作所設立
- 1980 逝去

かがみこうぞう  
**各務鑛三**

- 1896 岐阜県生まれ
- 1913 愛知県立陶器学校卒業
- 1914 東京高等工業学校図案科選科修業、同校嘱託教員となる
- 1918 南満州鉄道に入社、同中央試験場でガラス研究に従事
- 1929 ドイツ国立シュトゥットガルト美術工芸学校卒業
- 1930 各務クリスタル工芸硝子研究所設立
- 1934 各務クリスタル製作所設立
- 1985 逝去

こしばそといち  
**小柴外一**

- 1901 富山県生まれ
- 1917 同文館（出版社）勤務（～ '29）
- 1931 岩城硝子製造所入社（～ '58）
- 1932 岩城硝子工芸部で、パート・ド・ヴェールの研究に着手
- 1962 小柴硝子工芸研究所設立
- 1969 ガラスモザイカ販売会社設立
- 1973 逝去

すがさわとしお  
菅澤利雄

1940 東京都生まれ

1965 東京藝術大学工芸科卒業

保谷硝子株式会社（現 HOYA 株式会社）デザイン室勤務（～ ‘01）

現在、東京都在住

ますだよしのり  
益田芳徳

1934 東京都生まれ

1948 利根山光人に絵画を学ぶ

1954 上越クリスタル硝子株式会社にてガラス制作を始める

1971 走泥社同人となる

1978 世界クラフト会議に参加

2010 逝去

たけうちでんぢ  
竹内傳治

1934 山口県生まれ

1958 京都学芸大学（現京都教育大学）特修美術構成科専攻卒業

佐々木硝子株式会社勤務（～ ‘95）

2001 逝去

たしまえつこ  
田嶋悦子

1959 大阪府生まれ

1981 大阪芸術大学工芸学科陶芸専攻卒業

現在、大阪府在住、大阪芸術大学准教授

たかはしよしひこ  
高橋禎彦

1958 東京都生まれ

1980 多摩美術大学美術学部立体デザイン専攻プロダクトデザイン専修  
クラフトデザインコース卒業

多摩美術大学美術学部立体デザイン専攻研究室副手（～ ‘82）

現在、多摩美術大学教授、神奈川県にて制作活動を行う

いくたに よこ  
生田丹代子

1953 京都府生まれ  
1976 京都薬科大学卒業  
現在、京都市在住

いとうまこと  
伊藤孚

1940 大連市（現 中国）生まれ  
1964 多摩美術大学絵画科日本画部卒業。  
各務クリスタル製作所にて吹きガラスを学ぶ（～ '70）  
1976 多摩美術大学立体デザイン科でガラス授業を開始  
1996 ドイツのフラウエナウにて Jiri Harcuba 氏にグラヴィールを学ぶ  
現在、多摩美術大学名誉教授、山梨県在住

みしま え  
三嶋りつ恵

1962 京都府生まれ  
1989 ヴェネツィア（イタリア）に移住  
1996 ムラーノ島の職人とのコラボレーションによりガラス制作を始める  
2001 ロンドン・サザビーズよりジョルジオ・アルマーニ賞 受賞  
2012 Exemple 2012 にてバイエルン州賞 受賞  
現在、ヴェネツィアと京都を拠点に活動

いのうえつよし  
井上剛

1970 滋賀県生まれ  
1993 大阪芸術大学工芸学科陶芸コース卒業  
1994 大阪芸術大学芸術専攻科工芸専攻修了  
1996 富山造形研究所造形科卒業  
1998 金沢卯辰山工芸工房ガラス工房技術研修修了  
現在、東京都在住

## | 関連イベント

### ■ 出品作家によるアーティストトーク

2017年11月23日（木・祝） 午後2時より（予定）

講師：伊藤孚、井上剛、田嶋悦子ほか

会場：富山市ガラス美術館 2階ロビー

### ■ 学芸員によるギャラリートーク

2017年11月25日（土）、12月9日（土）、12月23日（土・祝）

2018年1月6日（土）、1月20日（土）、2月3日（土）

各回午後2時より開催

会場：富山市ガラス美術館 展示室1-3（2・3階）

○関連イベントはいずれも事前申込不要・参加無料。

ただし、展示室への入場には本展観覧券をご提示下さい。

○日時は都合により変更となる場合があります。

最新の情報は美術館ウェブサイトにてご確認ください。

<http://toyama-glass-art-museum.jp/>

## | 出版刊行物

展覧会カタログ「とめどないエネルギー：ガラスをめぐる探究と表現」

2017年11月23日発刊（予定）

デザイン：彼谷雅光（ナチュラル・デザインスタジオ）

取り扱い：TOYAMA キラリ（富山市ガラス美術館）2階ミュージアムショップ



4 益田芳徳《手のある顔》1981年 個人蔵  
撮影：末正真礼生



5 高橋禎彦《Hollow Piece》1999年 作家蔵  
撮影：齋城卓

## | 広報用画像

画像 1-12 を広報用に貸出いたします。

ご希望の方は、5p の画像貸出し申請書の使用条件をご確認いただき

EメールかFAXにて富山市ガラス美術館広報担当へ申請書をお送りください。

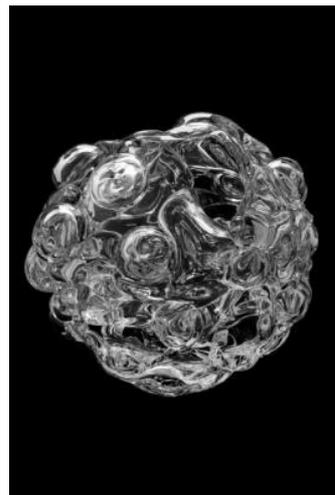
E-mail : bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp FAX : 076-461-3310



6 各務鏡三《花器》1980年 瀬戸市美術館蔵



7 井上剛《ヒのマー門ー》2016年 作家蔵



8 三嶋りつ恵《FONDO DI LUCE》2017年  
Copyright the artist.  
Courtesy of ShugoArts. Photo: Francesco Barasciutti



9 菅澤利雄《「材料に関する本」(本のシリーズ)》1981年 作家蔵  
撮影：末正真礼生



10 竹内傳治《花器 20B》富山市ガラス美術館蔵  
撮影：斎城卓



11 小柴外一《ぼけ文茶碗》1960年代後期 北海道立近代美術館所蔵



12 伊藤孚《ピエロ》1985年 作家蔵  
撮影：末正真礼生

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者： \_\_\_\_\_

Tel： \_\_\_\_\_ Fax： \_\_\_\_\_

E-mail： \_\_\_\_\_

住所： \_\_\_\_\_

団体名： \_\_\_\_\_

富山市ガラス美術館 画像貸し出し申請書

次のとおり、掲載用素材として企画展「とめどないエネルギー：ガラスをめぐる探究と表現」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名： \_\_\_\_\_

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体  
その他（ \_\_\_\_\_ ）

3. 掲載の趣旨

別紙のとおり（媒体資料を添付してください） \_\_\_\_\_

4. 掲載（放映）日時： \_\_\_\_\_

5. ご希望の画像番号： \_\_\_\_\_

○作品に文字やほかのイメージを重ねることはできません。また、縦横比の変更やトリミング、キャプション等の文字が写真にかぶらないようご配慮をお願いします。

○作品掲出には指定するキャプションを必ず入れてください。

○作品画像の2次使用はご遠慮ください。

※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。また、画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。

○商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。

○校正ゲラの段階で情報の確認をさせていただきます。

○記事が掲載された場合はDVD、掲載紙、誌を一部ご寄贈いただきますようお願いします。

申請書送付先：富山市ガラス美術館広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax：076-461-3310